

# 令和 8 年 お茶づくり技術情報 (No.5)

2026 年 5 月 28 日  
佐賀県茶業技術協会  
佐賀県茶業試験場

## 1. 一番茶作況

### 1) 生育状況

表 1 一番茶萌芽期

本 年	前 年	前 5 か年平均
4月3日	3月28日	3月28日

表 2 作況調査園の新芽長と開葉数

調査日	4月5日	4月10日	4月15日	4月20日	4月25日	4月30日	
新芽長 (cm)	本 年	0.5 ± 0.1	0.8 ± 0.2	1.8 ± 0.6	4.2 ± 1.3	7.2 ± 1.8	10.3 ± 2.1
	前 年	0.7 ± 0.2	1.0 ± 0.2	1.9 ± 0.5	4.4 ± 0.9	7.8 ± 1.4	9.1 ± 1.3
	前 5 か年	1.3 ± 0.3	2.3 ± 0.6	4.3 ± 0.9	7.3 ± 1.3	10.0 ± 1.6	10.7 ± 1.6
開葉数 (枚)	本 年	0.0 ± 0.0	0.1 ± 0.1	0.8 ± 0.5	1.9 ± 0.4	2.9 ± 0.5	3.7 ± 0.5
	前 年	0.0 ± 0.1	0.7 ± 0.4	1.3 ± 0.4	2.5 ± 0.5	3.5 ± 0.5	4.1 ± 0.3
	前 5 か年	0.5 ± 0.3	1.3 ± 0.5	2.2 ± 0.5	3.2 ± 0.4	4.1 ± 0.5	4.3 ± 0.4

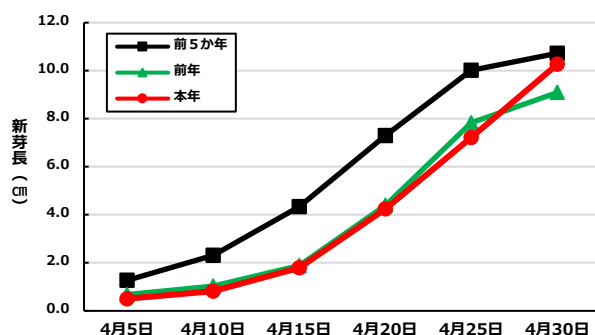


図 1 新芽長の推移

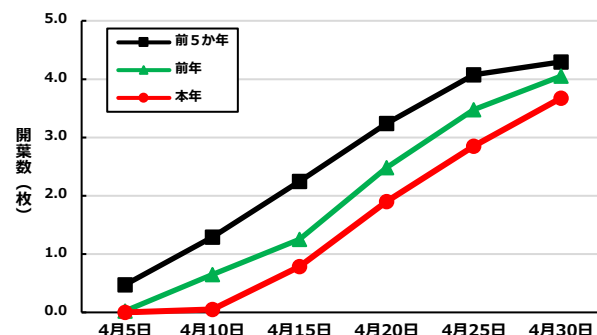


図 2 開葉数の推移

- (1) 場内の作況園（やぶきた）において、2026 年 4 月 3 日に一番茶の萌芽期を迎えた。本年の萌芽期は、前年および前 5 か年平均より 6 日遅かった（表 1）。
- (2) 本年の新芽長は、全期間を通じて前 5 か年平均を下回り、前年と同等の伸育であったが、4 月下旬に伸育が進み 4 月 30 日の調査時に前年を上回った（図 1）。
- (3) 本年の開葉数は、4 月上旬の低温により開葉の立ち上がりが遅れたことで、前年および前 5 か年平均を下回った（図 2）。
- (4) 一番茶の萌芽から摘採までの所要日数は、29 日間で、前 5 か年平均の 30 日間より 1 日間短かった（表 1）。

## 2) 一番茶摘採・新芽形質

表3 一番茶摘採日

本年	前年	前5か年平均
5月2日	4月30日	4月27日

表4 一番茶収量と収量構成要素

### ■ 一番茶収量 (kg/10a)

本年		前年		前5か年平均	
収量	指数	収量	指数	収量	指数
711.1 ± 59.9	124 (126)	565.8 ± 102.2	99	573.5 ± 75.4	100

注) 指数は前5か年平均を100とした値とし、上段には前5か年比、下段括弧内には前年比を示す。

### ■ 百芽重 (g)

本年		前年		前5か年平均	
重量	指数	重量	指数	重量	指数
63.1 ± 3.3	92 (105)	59.9 ± 5.8	88	68.5 ± 7.4	100

注) 指数は前5か年平均を100とした値とし、上段には前5か年比、下段括弧内には前年比を示す。

### ■ 新芽数 (本/m<sup>2</sup>)

本年		前年		前5か年平均	
芽数	指数	芽数	指数	芽数	指数
1613 ± 43	127 (98)	1650 ± 96	130	1266 ± 169	100

注) 指数は前5か年平均を100とした値とし、上段には前5か年比、下段括弧内には前年比を示す。

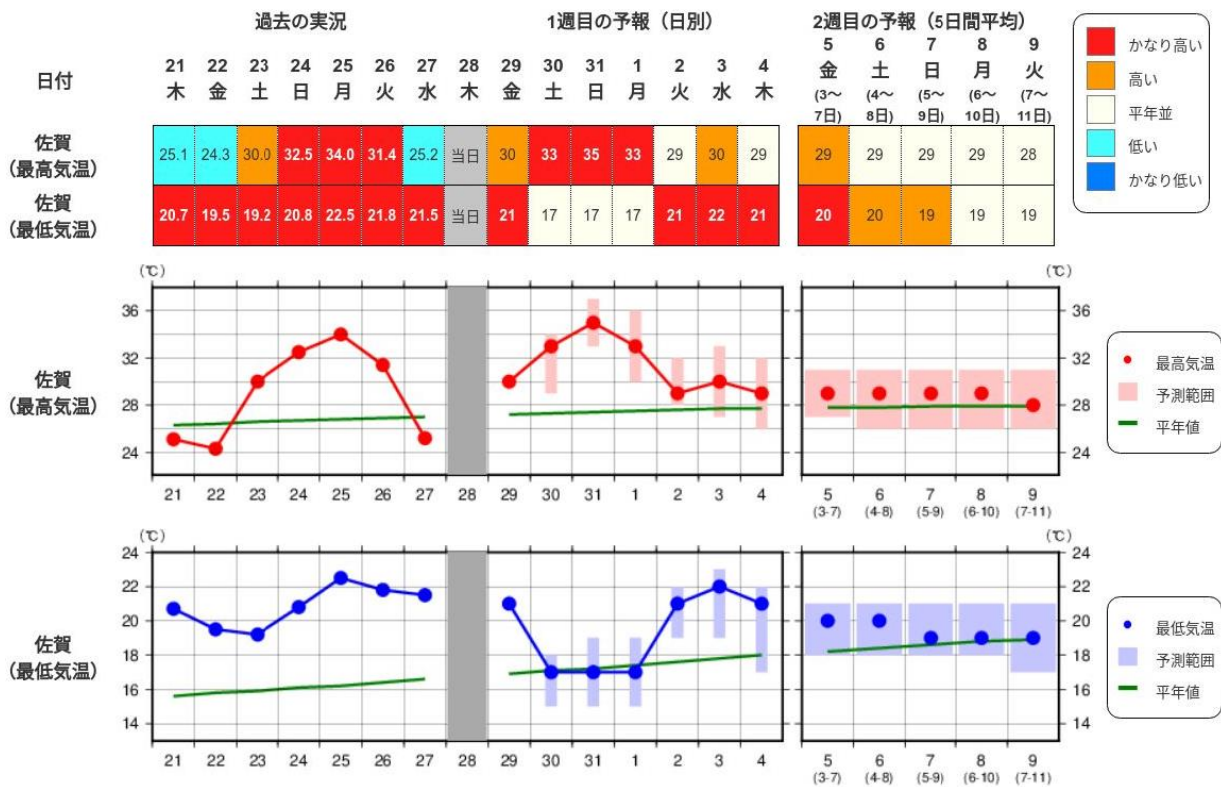
### ■ 出開度 (%)

本年	前年	前5か年平均
37.0 ± 9.1	41.2 ± 8.2	29.3 ± 10.0

- (1) 本年の一番茶摘採日は5月2日で、前年より2日遅く前5か年平均より5日遅かった(表3)。
- (2) 一番茶収量は、711.1kg/10aで、前年比126、前5か年平均比124と多かった(表4)。
- (3) 百芽重は、前年比105と大きく、前5か年平均比92と小さかった。新芽数は、前年比98と同等で、前5か年平均比127と多かった(表4)。
- (4) 出開度は37.0%で、前年より約4%低く、前5か年平均より約8%高かった(表4)。

### 3) 今後の気象の見通し

#### ■ 2週間気温予測 (気象庁、2026年5月28日更新)



#### ■ 1か月予報 (気象庁、2026年5月28日発表)

向こう1か月の天候の見通し

九州北部地方 (山口県含む) (5/30~6/29)

	平均気温 (向こう1か月)	降水量 (向こう1か月)	日照時間 (向こう1か月)
九州北部地方 (山口県含む)	低10 並20 高70% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

(1) 向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、高くなる見込み。特に期間の前半は気温がかなり高くなると予想されている。

(2) 向こう1か月の天候は、平年と同様曇りや雨の日が多くなる見込み。

今後の生育予測や防霜対策、被覆時期の調整に気象庁の予報サイトを活用しましょう！



1か月予報 (九州北部)



2週間予報 (佐賀県)

1か月予報 : <https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010900&term=P1M>

2週間予報 : <https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweek/?fuk=85>

## 2. 今後の管理

### 1) 刈りならし作業

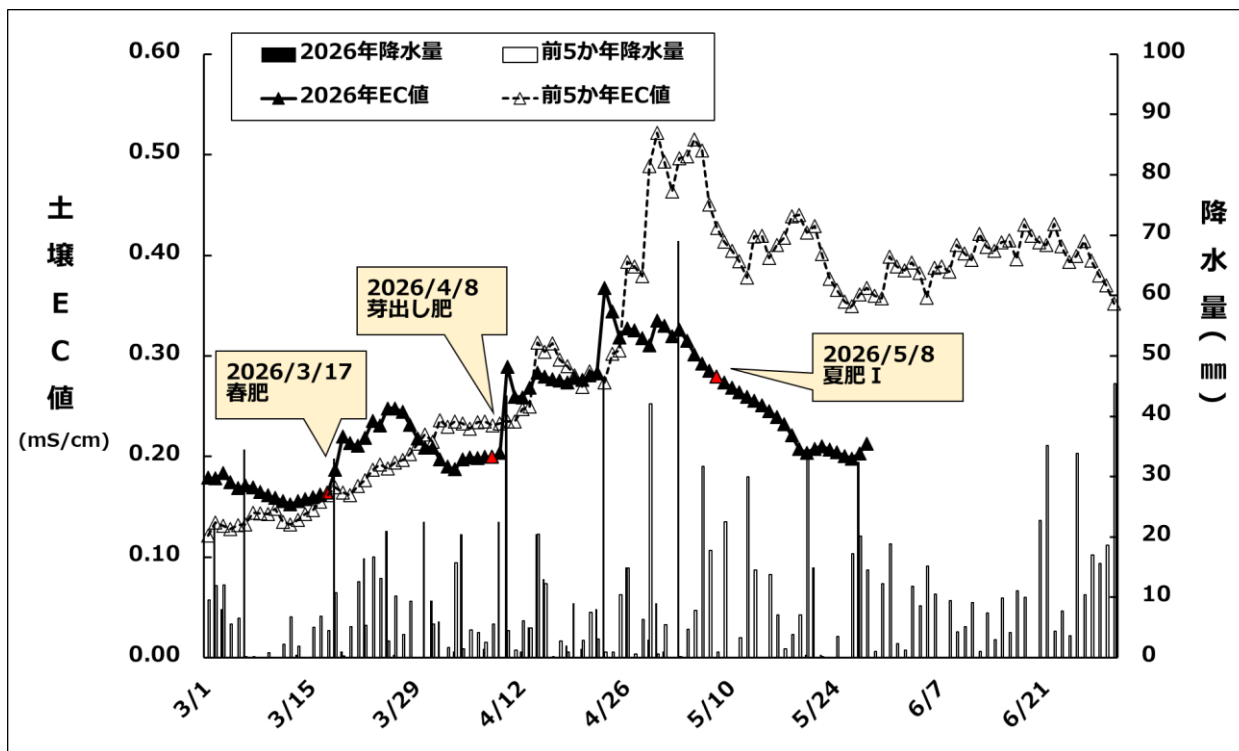
#### (1) 刈りならしの時期

- ①一番茶摘採から 10～14 日後を基本とする。
- ②一番茶の芽揃いが悪かった茶園（晩霜害を受けた茶園等）や早摘みした茶園では、遅れ芽の発生が著しいので、刈りならし時期をやや遅らせる（14～20 日後）。
- ③2 回刈りならしをする場合、2 回目が遅すぎると二番茶芽を剪除し、生育のばらつきや減収の原因となるため、作業の遅れに注意する。

#### (2) 刈りならしの位置

- ①刈りならしの位置は、基本的に一番茶摘採後に立ち上がった葉や遅れ芽を除く程度で、一番茶を摘採した位置で刈りならすようにする。二番茶芽にはハサミをかけるように十分に注意する。

### 2) 施肥管理



注) 土壌 EC 値は、雨落ち部の深さ 25 cm 部分に埋設した土壌センサーにて測定し、実測値に基づき補正した値を示す

- (1) 土壌 EC 値は、5 月 3 日～19 日の 16 日間降雨がなかったことで、前 5 か年平均より低く推移している。